

糖尿病と脂質異常の関係



糖尿病では脂質異常を合併しやすいといわれますが、どのような異常でしょうか。また、脂質異常を予防し改善させる方法がありますか。



糖尿病では高血糖を来す糖代謝異常の

みでなく、脂質代謝異常も伴ってきま

す。その結果、

血中の中性脂

肪(トリグリセ

リド)が増加

し、善玉といわ

れるHDLコレ

ステロールが減

少し、悪玉とい

われるLDLコ

レステロールも

増加しやすく、

さらに、動脈硬化をより

促進する異常なLDL

コレステロールに変化し

やすくなることも知ら

れています。糖尿病を合

併している人は糖尿病

のない人に比べ、心筋梗



塞などの動脈硬化性疾患が数倍発症しやすいといわれていますが、上記脂質異常は、いずれも

動脈硬化を促進

します。脂質異

常を予防し改善

させる基本的な

方法は、総エネ

ギー、脂質、糖質

の過剰摂取を控

え、かつ、バランス

の取れた食事療

法と運動療法に

よる生活習慣の

改善であり、また、肥満

があれば適正体重を目

指すことであります。



高知高須病院
糖尿病内科部長

末廣 正さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 (糖尿病内科)